

# UD講師派遣プログラム

～「UDをもっと知りたい」にお答えします～

## ■内容

UDの知識を持つ市民などの講師を学校や地域に派遣し、様々な視点からUDについてのお話をします。

## ■対象

小学校、中学校、各種団体の勉強会など

## ■実施期間

年間を通して随時（但し、申込書は実施日の1か月前までには提出してください。）

## ■申込方法と講座開催までの流れ

- ① 申込書をご提出いただく前に、市にご連絡ください。  
希望プログラムの講師の連絡先をお伝えします。
- ↓
- ② 学校(申込者)から講師に連絡をし、日程を調整してください。
- ↓
- ③ 日程が決まったら、1週間以内に「申込書（第2号様式）」を市に提出してください。（FAX・連絡便・Eメール・持参のいずれかで）  
※万一、調整がつかなかった場合は、市にご連絡ください。
- ↓
- ④ 市から、承認通知書（第3号様式）が届きます。
- ↓
- ⑤ 決定した日に、講座を開催します。



## ■その他

※申込みは各学校（各団体）につき1回までです。

※講師料は市が負担します。（ただし、予算の限度額に達した時点で終了となります。）

※プログラムによっては申込者側が準備する物があります。別紙を確認の上、お申し込みください。

※前もって、各区・区振興課のUD出前講座「ユニバーサルデザインって何？」を受講されると、UDの基本的な考え方が理解できます。

【問合せ】 浜松市 市民部 UD・男女共同参画課

〒430-8652 浜松市中区元城町 103-2

TEL：053-457-2364 / FAX：053-457-2750

Eメール：[ud@city.hamamatsu.shizuoka.jp](mailto:ud@city.hamamatsu.shizuoka.jp)



《講師派遣プログラム一覧》

No.	プログラム名（所要時間）	講師名または代表者名
内 容		
1	<p style="text-align: center;"><b>「見て! さわって! 楽しくUD体験」</b> (45~90分程度)</p> <p>様々な人に配慮されたUD製品を紹介し、実際に見たり触れたりしてUDを体感します。また、「はままつUDかるた」、「UD紙芝居」で遊びながらUDの考え方や知識を深めます。</p> <p>授業では、障がいのある人や高齢者、力の弱い人や左利きの人など、うまく使えず不自由を感じている人に対して工夫された誰でも使えるUD製品を、実際に触って試してみることができます。普段の生活の中で気がついていないUDに、驚きと喜びをもって気づかされます。</p> <p>「はままつUDかるた」は、バス、駐車場、色の組み合わせなど、多方面にわたりUDのことを題材にしてあるので、遊びながら楽しくUDを学ぶことができ、また「UD紙芝居」を通じてもUDのことを学べます。 <u>※小学生向けのプログラムです。</u></p> <p><b>【内容】※90分コースの場合</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① UD製品紹介・体験 (45分)</li> <li>② 「はままつUDかるた」によるワークショップ (45分)</li> <li>③ UD紙芝居の朗読 (45分)</li> </ul> <p style="text-align: center;">} どちらか選択</p>	<p style="text-align: center;">はままつUD市民 リーダークラブ</p>  <p style="text-align: center;">UD紙芝居 はままつUDかるた</p>  
2	<p style="text-align: center;"><b>「朗読をともに楽しむ 心のユニバーサルデザイン」</b> (90分程度)</p> <p>障がいのある人や高齢者との触れ合いにより、心のユニバーサルデザインを育みます。</p> <p>授業では、グループに分かれて、障がいについて子どもたちが疑問に思うことを直接質問し、それに対し丁寧に答えることで、障がいのある人が普段どんな生活をしているのか、生の声を聴くことができます。その後、アドバイスを受けながら、全員で短編の詩の朗読を行い、相手にうまく伝える方法を学びます。</p> <p>実際にプログラムを受けた学校からは、障がいのある人が自分たちの体験を明るく話してくれたことから、障がいがあるからと諦めず前向きに生活されていることがわかり良かった、また、障がいのある人が学校を訪問することで、校内のユニバーサルデザインについての必要性が身近に感じられたと好評です。</p> <p><b>【内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 障がい者・高齢者とのコミュニケーション (60分)</li> <li>② 障がい者・高齢者と一緒に朗読 (15分)</li> <li>③ 朗読やふれあいの感想 (15分)</li> </ul>	<p style="text-align: center;">かたつむりの会</p> 

No.	プログラム名（所要時間）	講師名または代表者名
内 容		
3	<p align="center"><b>「グローバルコミュニケーション時代、やさしい日本語で外国人と仲良くなろう！」</b> (90分程度)</p> <p>外国人とは外国語で話さなければと思っていませんか。そんなことはありません。日本語で大丈夫なんです。私たちがふだん使っている日本語をほんのちょっと「優しい気持ち」で「易しく言い換える」だけで、<u>グローバルコミュニケーション</u> (*) が楽しめます。</p> <p>授業では、ワークを通して「やさしい日本語」のコツや工夫、「気持ち」を学びます。</p> <p>グローバル社会に巣立っていく子供たちの原体験のひとつに、「やさしい日本語」を取り入れてみませんか。</p> <p>.....</p> <p>(*)グローバルコミュニケーションとは、英語をはじめとする語学力だけでなく、自分を伝える力、他者を理解しようとする力、愛嬌などにも目を向けた意思疎通です。</p> <p><b>【内容】90分の場合</b></p> <p>① ガイダンス：「やさしい日本語」とは（45分）</p> <p>② ワーク：下記一例（45分）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国にルーツを持つクラスメートと仲良くなろう（全てのクラスで可）</li> <li>・多言語音声翻訳を使ってみよう（Web環境が整う場合）</li> <li>・外国人と実際に話してみよう（当法人から複数名で参加できる場合）</li> </ul>	<p>NPO法人 フィリピンナガイサ (事務局長 半場 和美)</p>  
4	<p align="center"><b>「パラスポーツを体験しよう！」</b> ～サウンドテーブルテニス(STT)とブラインドサッカー(5人制サッカー)～ (90分程度)</p> <p>サウンドテーブルテニス(STT)やブラインドサッカー(5人制サッカー)は、一言で言うと視覚障がい者の方も楽しめるよう工夫されたパラスポーツです。視覚障がいの有無に関わらず、お互いにコミュニケーションを取りながら一緒に楽しむことができます。</p> <p>授業では、アイマスクをし、視覚障がいのある選手と一緒にボールの音、人の声、周りの音などを頼りにプレーをします。</p> <p>そのため、静かにすることが応援に繋がるということも学ぶことができます。また、視覚障がいの方と直接お話しをすることにより、見えない人が見えてくる世界や、私たちが視覚障がいの方に対してできることは何かを考えるきっかけになります。</p> <p>是非、パラスポーツを通して一緒に楽しみながら、UDについて学びませんか!!</p> <p><b>【内容】</b></p> <p>① 「障がい」って何？（20分）</p> <p>② サウンドテーブルテニス・ブラインドサッカーってどんなスポーツ？(20分)</p> <p>③ サウンドテーブルテニス・ブラインドサッカーを体験しよう！（50分）</p> <p><b>【準備物】</b></p> <p>・アイマスク(手ぬぐい可)・カラーコーン・卓球台(ネット含む)・ホワイトボード</p>	<p>NPO法人 ろくせい 六星・ウイズ (代表者 斯波 千秋)</p>  

No.	プログラム名（所要時間）	講師名または代表者名
内 容		
5	<p align="center"><b>「コミュニケーションボードを作ってみよう！」</b> (90分程度)</p> <p>いろいろな場面のイラストをお互いに指でさしながら、思いを伝えることができるツール、それがコミュニケーションボードです。</p> <p>障がいのある人や外国人など、会話がうまく通じなくても、イラストを使ったコミュニケーションの方法があることを学びます。</p> <p>授業では、グループ形式で、みんなで話し合いながら、数ある既存のイラストの中から必要なものを選んで張り付け、一つのコミュニケーションボードを作りあげます。</p> <p>更にそれを実際に使って、コミュニケーションがスムーズにいくかを試してみます。</p> <p>どんなイラストを使えば、相手が自分たちに意思を伝えることができるのかを想像しながら絵を選んでいくことにより、他人への思いやりの大切さも学べます。</p> <p><b>【内容】</b></p> <p>① コミュニケーションボードとは (25分)</p> <p>② コミュニケーションボード作り (50分)</p> <p>③ コミュニケーションボード体験 (15分)</p> <p><b>【準備物】</b> ハサミ、のり等 (各自) A3用紙、付箋 (学校でご用意ください)</p>	<p align="center">UD 学習支援ガイド</p>

